

令和5年3月卒業生 合格体験記

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉専修（学校推薦型選抜） Kさん

私は一年生の頃から福祉について興味があり、将来は福祉に携わる仕事をしたいと思い、二年生になって福祉理解系列を選択しました。この系列に入り、支援方法や介助の行い方、校外介護実習を通してさらに福祉という分野に興味を持ちました。また、私はラグビー部に所属していて、せっかくならもっと続けたいと思い、福祉の勉強とラグビーができる日本福祉大学を目指すことに決めました。

進路実現に関して私から後輩の皆さんに三つのお願いがあります。一つ目は、「自分は何がしたいのか」あるいは「自分は何に興味があるのか」をしっかりと考えることです。もちろん夢や、やりたいことが見つからない人もいるかも知れません。けれど、どんなに小さなことでもいいです。自分の好きなこと、楽しいと思えるものを見つけてそれを伸ばしていきましょう。

二つ目は日々の学校生活での学びを大切にしてください。授業をきちんと受けることは当然ですが、期限までに提出物を出したり時間を守って行動したりするなど、当たり前のことを当たり前に行う意識を持って欲しいと思います。

三つ目は、身だしなみをきちんと整えておくことです。身だしなみを整えることは社会でのマナーと言えます。また進学や就職に関係なく、その人の最初の印象で評価されてしまいます。それによって合格か不合格が決まってくるため、いつ、どこで、誰に見られても大丈夫な様に常に身だしなみには注意する必要があります。特に学校生活での学びを大切にすること、身だしなみをきちんと整えておくことは、進路選択にとっても関わってきます。身だしなみの所でも話をしたように、少しの心の緩みや準備不足が今後の人生を左右します。ですから、「めんどくさい」とか「好きじゃないから」で終わらせるのではなく、自分の将来のために今を大事にしてほしいです。皆さんの進路実現が上手くいくことを願っています。

中部大学 人文学部 英語英米文化学科（指定校推薦） Kさん

私は、一年生のときに英語に興味を持ち英語が話せるようになりたいと思うようになりました。そして英語学習を始めました。しかし具体的にこの大学行きたいというのはなく進路が決まったのは三年生の夏休み前くらいでした。私は、もともと英語がすごく苦手で高校で英語学習を始めるまでは一般動詞のルールなどといった基本的なことがわかりませんでした。

そこで、まず私は一から中学英文法の学び直しを始めると同時に、高校三年間で英検二級に合格することを目標に立てました。いきなり二級から受けるのは厳しいと思ったので三級、準二級、二級といった順番で、学校で実施される英検を受けました。そして三年生の10月くらいで二級に合格することができました。三年間英語学習をしたことで学んだことはもちろんありましたが、全然できなくて挫折することもありました。しかし、努力をし続ければ努力が報われることと、楽しく勉強することでモチベーションが上がって長続きすることを実感しました。

反省点としては自分の力に自信がなく今回は受けないで次回受けようと英検を受けずに後悔したことです。自信がなく受かりそうにないなと思っても、とりあえずは受け、どんなことでも挑戦してみることが大切だと実感しました。もし何か学びたいことがあるならばぜひ挑戦し、継続し続けてほしいです。そうすれば、どの大学でどの学部に行けばよいのかがはっきりすると思います。

愛知淑徳大学 文学部 教育学科（総合型選抜） Nさん

私は、自分がやりたいことが三年生の始めまで見つかりませんでした。しかし、私の周りには、発達障害や精神疾患を抱えて、生きる上での困難を抱えている人が多くいたことに気づいたことや、私自身が誰かの役に立ちたいという思いが強いため、高校三年間は、ボランティア活動を多くするJRC部で活動していました。そのことをきっかけに卒業後も誰かの役に立つことを学びたいと考えるようになりました。

また、高校入学前は、発達障害や精神疾患を抱えている人と関わることは苦手でしたが、高校一年生の冬に時間があるうちに何か目標を立てたいと思い、漢字能力検定二級の受験を決意し、一年間勉強を積み重ね、高校二年生の冬に合格することができました。そこから、やればできるということを学び、もっと新しい挑戦がしたいと思うようになり、困難や、生きづらさを抱えている人を支えることができる人になりたいと思い、関連する職業を調べていて、特別支援教育に関心を持ちました。そこで、特別支援教育を学ぶことができる複数の大学のオープンキャンパスに行ったり、インターネットなどで調べたりするうちに、愛知淑徳大学の取り組みや学べる内容などが、私の興味に合っていると感じました。複数回のオープンキャンパスに参加し、先生方や現役大学生に、知りたいことや学校の特徴を尋ね、設備の特徴や校風などを確かめた後、受験することを決め、過去問を取り寄せ、市販の問題集を使い、基礎学力をつけるために共通テストの勉強をしました。

私が、総合型選抜という方法で受験した理由は、様々な受験方法を調べるうちに、総合型選抜が、面接や志望理由書などで、高校時代の実績を評価する選抜方法であると知ったと同時に、勉強が得意ではないけれど、ボランティア活動などの実績が多くある私にとって、とても魅力的な方法だと思ったからです。

受験を決めたときは、合格するのは難しいとわかっていたけど、諦めずに挑戦して、合格することができて良かったです。

これから受験する皆さんが、自分の決めた進路が難しいと感じていて諦めようとしているのなら、諦めずに挑戦することを勧めます。結果が実らなくても、学ぶ姿勢を崩さず努力し続けられれば、人生の中で一度はあの時やっておいて良かったと思えることがあるはずです。一度しかない高校生活を無駄にせずに努力し続けてください。

関西外国語大学 外国語学部 英米学科（公募制推薦） Sさん

私は中学生の頃から海外に興味があり、明確になりたい職業は決まっていませんでしたが様々な国を旅しながら仕事をしたいと思っていました。そのためには、異文化理解を学びつつ、第二言語を習得し別で何かの分野を学ぶことが必要だと思い、留学プログラムや国際関係を学べる関西外大へ行きたいと強く思いました。将来就きたい仕事や分野が大まかに決まっていると進学先が決めやすいと思います。

私から後輩の皆さんにやってほしいことが二つあります。一つ目は、自分の強みと言えるような教科を一つや二つ作ってください。大学入試には様々な方式があり、私のように英語の筆記試験だけで受けられる学校もあります。自分の強みが生かせたらとてもいいと思います。二つ目は、自分を信じてください。模試の結果を見て悔しくなったり、先生などに行けない可能性があるなど厳しく言われたりすることもあると思います。ですが、諦めずに頑張れば大丈夫です。私は高校二年生の時まで大学に行けないと思っていました。自分の中では高校三年生の夏が勝負だと思っています。辛くてやめたいと思ったことは数えきれないぐらいありました。だけど、やっぱり入ることができなかつたと言われるのは負けた気がして最後までやり切りました。「瀬戸北だから無理」などと思わないでください。自分の努力次第で大学に入ることも夢ではないです。皆さんの進路実現が上手くいくことを願っています。頑張ってください。

公立瀬戸旭看護専門学校 看護学科（学校推薦型選抜） Oさん

私は、高校に入学する前から看護師になりたいという気持ちと公立瀬戸旭看護専門学校に入りたいという気持ちが強くありました。その夢に少しでも近づけられるように福祉系列のある瀬戸北総合高校を選びました。進路選択に迷うことはありませんでしたが、瀬戸旭の推薦枠内に入れるかがずっと不安でした。しかし絶対に諦めたくなかつたため、とにかく成績を上げられるように日々の授業やテスト勉強に精一杯励みました。

私が今回の受験で一番大事だと感じたことは、自信をつけることです。私は、福祉理解系列でボランティアに参加したり、校外介護実習をおこなったりとさまざまな経験をしてきました。また、受験前には受験対策として面接練習をたくさんおこなったり、小論文の練習をおこなったりしました。そうしたことが後に、自信へと繋がりました。さまざまな経験をしてきたことで、面接で自分のことを自信をもってアピールすることもできました。緊張した時には、「ここまで頑張ってきたから大丈夫！」と過去の頑張りからの自信や周りからの声援を思い出しながらやり遂げました。不安はありましたが、面接練習の担当の先生や担任の先生から「たくさん練習してきたから大丈夫」などという言葉をいただき、それも励みになって最後まで諦めずに頑張ることができました。

どんな進路選択をしたとしても、日々の努力は自信へと繋がります。進路選択に悩んでいる方、進路に不安を抱いている方、まずは小さなことから頑張ってみてください。テスト勉強を今まで以上に頑張ったり、新たなことに挑戦してみたりと、どのようなことでも自信に繋がり、その時は辛くても最後には頑張っただけよかったと思えると思います。

後輩の皆さんが望んだ進路を実現できるよう応援しています。

日立ターミナルメカトロニクス株式会社 (就職) Sさん

私は就職を志望していました。といってもすぐに志望企業を決められたわけではありません。放課後は残ってずっと求人票を見て、いろんな先生と話をしました。それでもなかなか決められませんでした。インターネットで調べたりパンフレットを見てみたりと、沢山悩んだ末にやっと第一希望から第三希望まで決めました。その企業のことなら何でも答えられるのではと思うほど調べました。聞いて驚くかもしれませんが最終的に私が選んだ企業はあれほど沢山調べた企業ではありません。私に「あなたに勧めたい会社がある。」と先生が紹介してくれたおかげで日立ターミナルメカトロニクスという企業に出会うことができ、無事合格することができました。そこでここでは、私がやっておいて良かったことを紹介します。

まずやりたいことが分からなくて進路に迷っている場合、考え方として「やりたくないこと」をピックアップする方法も良いと思います。

そしてやりたいことが大体決まっていく中で生まれた違和感や疑問は無視してはいけません。とにかく先生と沢山面談をしてください。時間を作ってもらってください。話をする中で自分が本当はこう思っていたのだと気づくこともあるからです。

面接に関してですが、対策ノートを作ることをお勧めします。自分で想像できる範囲で質問文を書き出し、箇条書きで自分の答えをまとめてください。実際に話すときに、箇条書きでまとめたことを頭の中で繋げて文章にする練習をすると良いです。丸々文章を覚える方法はお勧めしません。実際、何度面接練習をしても本番は緊張しますし、イレギュラーなことは起きます。ですがたとえ言葉に詰まっても、一生懸命準備したあなたの人間性をきっとプロは見抜きます。夏休みの面接練習でボロボロに傷つくかもしれませんが、そう信じて諦めずに自分と向き合ってみてください。

最後に私は真面目でも何でもないので、先生が言わないようなことを取って言います。「合格体験記」なんて大層な言葉がありますが、私は失敗体験の方が学べることはたくさんあると確信しています。ですから、たとえ自分の思った通りの進路が叶えられなくてもそれはこの先絶対活けると信じています。ひとつの選択で人生が決まるなんてことはないと思います。何が言いたいかという、考えすぎないでください、ということです。進路実現のために真剣に向き合えば向き合うほど、自分のやっていることが何の為になるのか分からなくなる時がきっと来ます。自分のことを嫌いになると思います。それでもひとつだけ言えるのは、今あなたが一生懸命にやっていることは無駄ではないということです。それは合格してもそうじゃなくても変わりません。その上で、精一杯頑張ってみてください。応援しています。

住友理工株式会社（就職） Yさん

私は、一年生二年生とやりたいことが特に見つからず、進学か就職か何にしようか迷っていました。進路が決まったのは、三年生の夏でした。初めは、学校に来た求人票やパンフレットを見て、先生や先輩の話を聞いたりして決めました。しかし、ここにしようかなと思った矢先、先生から一つの会社の求人票とパンフレットをもらったのです。その会社は、今年から瀬戸北総合に求人を出したようで、先輩の情報は全くありません。そこで会社見学に参加したところ、とても雰囲気がよく働き甲斐のありそうなところだったので、その会社に決定しました。

私から後輩の皆さんに注意してほしいことが二つあります。一つ目はその会社のことについて徹底的に調べ、知ることです。自分が将来働くところの働き方や状況、会社方針や休暇、給料、設備などについて調べてみると、もしかもしれませんが、イメージがつき楽しみになるかもしれないからです。

二つ目は、面接練習をしっかりとすることです。私は、進路が決まってから毎日のように担任や副担任の先生に練習に付き合ってくださいました。初めは全然うまくいきませんでした。重ねていくうちに良い点、悪い点が浮き彫りになり改善することができました。そして本番、全く緊張せず自分をアピールすることができました。練習した分だけ成功します。何度も練習を頑張ってください。

皆さんの進路実現がうまくいくことを願っています。